

条幅規定

師範正 村内 緯子

やや右上がりになりが、抑揚の効いた線に墨を乗せ、思い切りの良いリズムで躍動感と生命感を感じる作品となった。体も鍛えた所が強くなるように書道も書く枚数で線を鍛えることが大切です。

条幅随意(臨書)

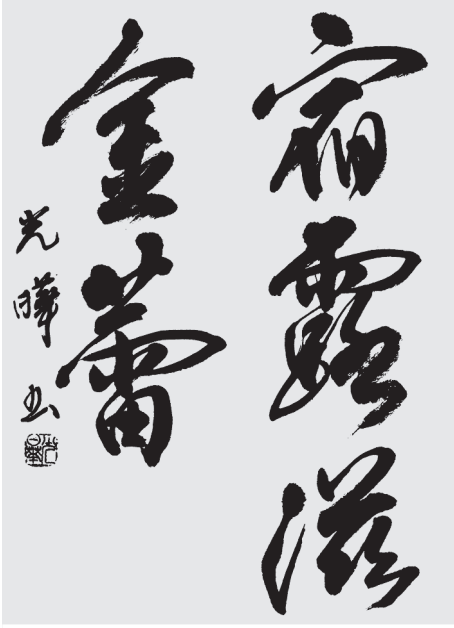
成家 小村 佳将

古典をよく観察し、手本も参考、それに自己の感性と経験をブレンド。思い切りのよいリズムで、迷いのない線が作品に自信と生命感を与えている。古典は経験値によってその理解度と線質も変化する。

条幅随意

成家 伊良子喜代

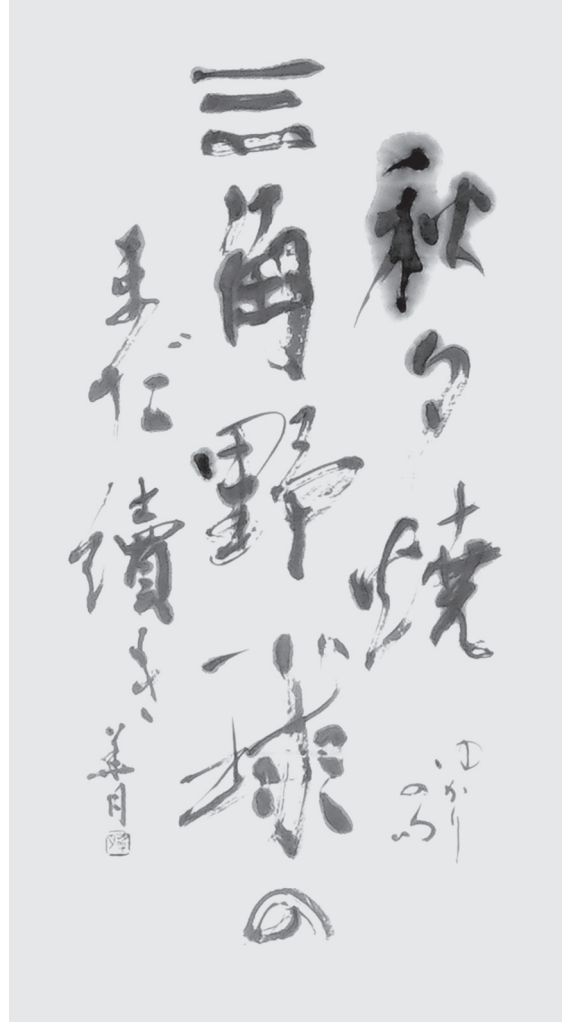
永年培ってきた線と経験値が作品に存在感と強い意思が感じられる。「温故知新」派手さはないが、正当な現代書への表現力は評価したいところ。時代に流され過ぎず、自己の感性を大切にしたい。



半紙規定

成家 茶圓 光暉

米芾・王鐸の書風を取り入れ、手本に拘らずに自己の作品を表現。無理のない自然な用筆で、流れ・結体・余白とも美しく、自己表現の豊かさが見事である。色々な書体にも挑戦を。



半紙随意

師範正 川久保由香里

手慣れた筆捌きと、淡墨を無理なく纏め、手本とは違った個性が光り、詩情豊かな作品となった。個性はチャレンジである。川久保君の新しい世界観に期待している。



半紙随意(臨書)

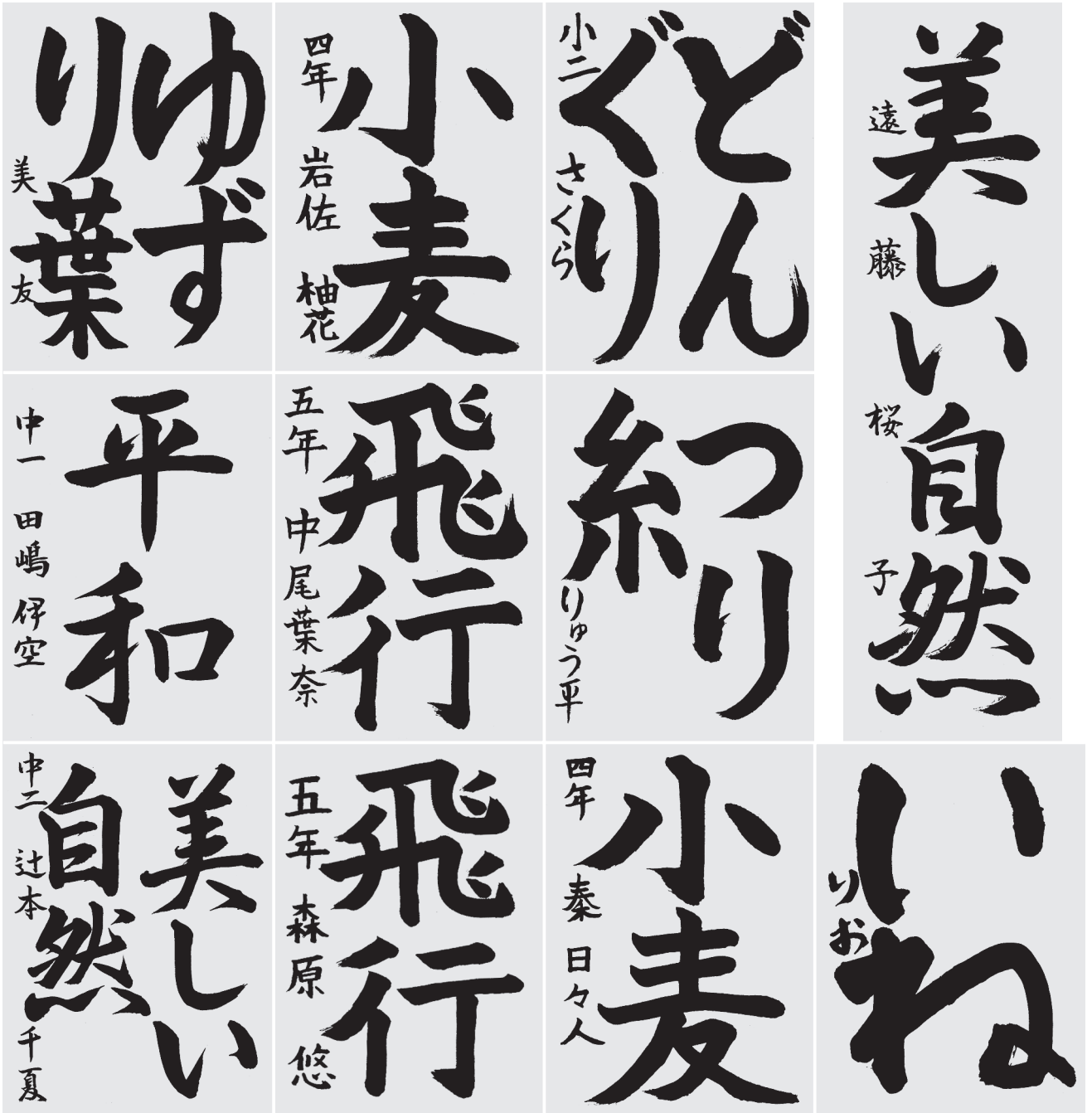
準師範 住田 紫苑

顔真卿の用筆を理解し、運腕大きく、重厚な線と、息の長い軽妙な線が流れを捉えて調和させている。また、気魄に満ちた筆致が作品に存在感を与えている。墨は少し濃いめに。

半折½縦

成家 松原 華月

心に残った思い出を青墨で挑戦し表現したのである。日々の努力と豊かなセンスで作品が映像化され、書の醍醐味さえ感じさせてくれる。ことばは、生きていく。流石「成家」の作品である。



学生部条幅 (1/4)

中三 特待生 遠藤 桜子
力のこもった線で堂々と書けています。「継続は力なり」さすが「特待生」の作品です。中学三年生、勉強との両立が見事です。今後が更に楽しみます。

荒木 りお 小一 7級
ほんしいっぱい
に、りおさんの
元気があふれた
さくひんです。
むずかしい「ね」
の「むすび」も
よくれんしゅう
ができています。

後藤 さくら 小二 4級
おけいこの楽し
さが作品にあふ
れています。と
てものがやかに、
形よく書けてい
ます。これから
もがんばってく
ださいね。

秦 日々人 四年
矢野 りゅう平 小三 7級
一字一字とても
ていねいに形よ
く書けています。
むずかしい「糸」
もしつかりと練
習のできたすば
らしい作品です。

岩佐 柚花 小四 準初段
のびやかな線で
半紙いっぱい
元氣よく書いて
います。名前も
しつかりと練習
ができています。
今後、さらに期
待します。

森原 悠 五年
中尾 葉奈 五年
中尾 葉奈 五年
力のこもった強
い線で、難しい
課題をバランス
よく書けていま
す。さすが上位
有段者の作品で
す。名前もすば
らしい。

嶋村 美友 小六 準六段
一字一字とても
丁寧に形良く
書けています。
お手本の細部ま
でよく見て、完
成度の高い作品
になりましたね。
素晴らしい。

辻本 千夏 中二
田嶋 伊空 中一 六段
線から線への自
然な流れがとて
もきれいな作品
です。全体のバ
ランスも見事
です。名前まで
しつかりと書け
ています。

辻本 千夏 中二・三 特待生
お手本の細部ま
でよく観察し、名
前まで集中力を
切らさずとても
上手に書けてい
ます。さすが「特
待生」。一般部
へ挑戦しましょ
う。

硬筆部最優秀作品

(10月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級
氏名
くじらは、青い空
のなかを、げん
ぎいっばい、すす
んで、いきました。

段級
氏名
一ねんなからはんな

段級
氏名
うら口からのぞくと、兵十
は、昼飯を食べかけて、茶
わんを持ったまま、ぼんや
りと考えこんでいました。

段級
氏名
玉置 桜

段級
氏名
固有種と他の種とを比べるこ
とは、生物の進化の研究にと
も役立つのです。日本には、固
有種がたくさん生息するゆた
かなかん境があります。

段級
氏名
大庭 結愛

段級
氏名
共通語の普及により、異なる地域
の人々が円滑に交流できるよう
になった。いっぽう、地域に深く根を
下ろし、その土地の文化や風土をこ
まやかに映し出すのが方言である。

段級
氏名
板垣 星奈

段級
氏名
「きみ、お手紙が
来るのを、もうち
よとまっ てみた
らいいと思っな。」

段級
氏名
かじはらみおり

段級
氏名
うら口からのぞくと、兵十
は、昼飯を食べかけて、茶
わんを持ったまま、ぼんや
りと考えこんでいました。

段級
氏名
永石 昶一郎

段級
氏名
「田んぼが詩に書かれた田んぼの
ように、かがやいて見えましたよ。
と、昔の教え子たちが言う。苦しい
農作業の中に、楽しさを見つける。
工夫することに、喜びを見つける。

段級
氏名
黒岩 佳歩

段級
氏名
懐石料理の懐石とは、禅宗のお坊さん
が空腹を一時的に忘れるため、温かい
石を懐に入れて胃を温めた故事から
きた言葉である。実際に真似してみれ
ば、空腹感の薄れることがわかる。

段級
氏名
福田 喜久恵

段級
氏名
青い空の下、お兄ちゃん
やちいちゃんぐらいの
子どもたちが、わらい、声
を上げて、遊んでいます。

段級
氏名
富田 美優

段級
氏名
固有種と他の種とを比べるこ
とは、生物の進化の研究にと
も役立つのです。日本には、固
有種がたくさん生息するゆた
かなかん境があります。

段級
氏名
豊田 龍星

段級
氏名
共通語の普及により、異なる地域
の人々が円滑に交流できるよう
になった。いっぽう、地域に深く根を
下ろし、その土地の文化や風土をこ
まやかに映し出すのが方言である。

段級
氏名
林 里咲

段級
氏名
細平くん、お誕生目おめでとう。
いよいよお名実と大人の仲間入りすれ
ば、晴れ一儲に酒を飲み交そうになり
構い限りです。
幼い頃から勉強にスポーツにと努力を重ね、
ご両親もお喜びと存じます。感謝の気持ち
を忘れず、ますます精進を願っています。
まずは書面にてお祝い申し上げます。

段級
氏名
田代 聡子

中原 華那
小一 準7級
マスいっぱいにと
てもげんきよ
くじょうずにか
けましたね。か
ん字もだんだん
むずかしくなり
ますがよくがんば
りましたね。

梶原 美織
小二 3級
明るくすつきり
とした線で、と
てもじょうずに
書いています。
漢字も形よく、
しっかりと練習
のできた作品で
す。

富田 美優
小三 6級
お手本をよく見
て、一字一字で
いねいに書いて
います。漢字と
平仮名の balan
スがよく、明る
くすばらしい作
品です。

玉置 桜
小四 準三段
お手本と見間違
うほどすばらし
い作品です。お
手本をよく見て、
一字一字しっか
りと書いていま
す。さすが上位
有段者ですね。

永石 昶一郎
小四 2級
伸びやかな線で、
漢字と平仮名の
バランスが良く、
とても上手に書
けた作品です。
さらに、上を
目指してがんば
ってください。

豊田 龍星
小五 四段
力のこもった強
い線で書き始め
から名前まで一
生懸命に書いて
います。今後、
指の力をぬいて
書くことと更によく
なると思います。

大庭 結愛
小五 準初段
ペンを上手に使
って、書き始め
から名前までと
ても上手に書い
ています。上位
有段者に負けない
力を持っていま
す。期待大!

黒岩 佳歩
小六 六段
漢字と平仮名の
バランスが良く、
一字一字丁寧に
形よく書いてい
ます。いつもな
がら完成度の高
いすばらしい作
品です。

林 里咲
中学 特待生
お手本と見間違
うほど完成度の
高い見事な作品
です。さすが、特
待生。今後はペ
ン(ゲルインク
0.5mm又は0.4mm)
にも挑戦しまし
よう。

板垣 星奈
中学 準六段
明るくすつきり
とした線で、漢
字と平仮名がバ
ランス良く書け
ています。書き
始めから名前ま
で、完成度の高
い作品です。

福田 喜久恵
一般 師範
手本の細部まで
よく観察され、
文字の大小、流
れが見事です。
永年、コツコツ
と積み重ねられ
た努力が白眉な
作を生みます。

田代 聡子
一般 五段
文字の大小変化
が自然で流れ良
く明るく書いて
います。毛筆の
流れが硬筆にも
生かされます。
今後の精進に期
待しています。